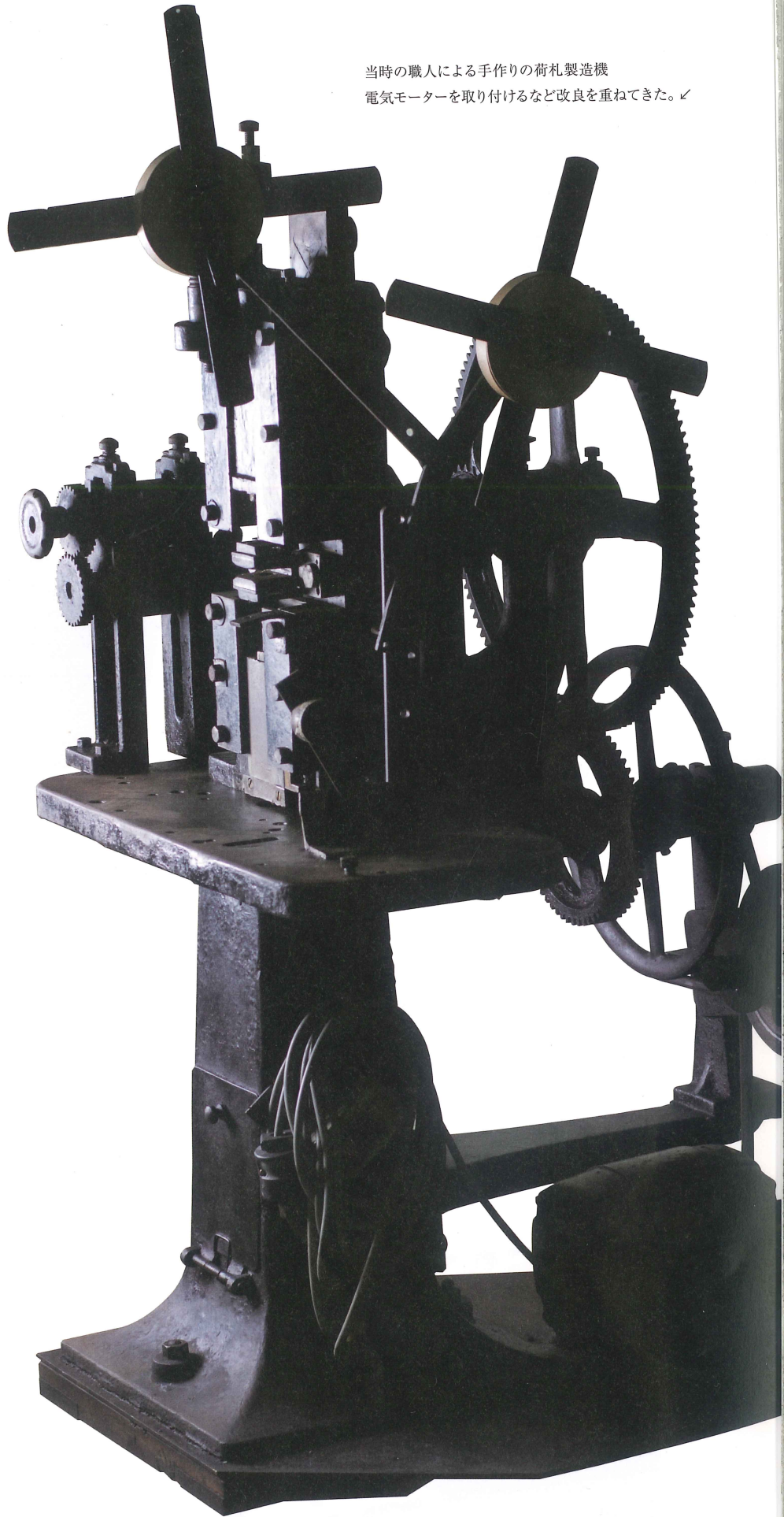


当時の職人による手作りの荷札製造機
電気モーターを取り付けるなど改良を重ねてきた。✓

荷札から 活版印刷へ

東彼杵町にあった印刷工場の歴史と
活版印刷の魅力を紹介します



2015年9月2日(水) - 11月2日(月)

東彼杵町歴史民俗資料館

入場無料

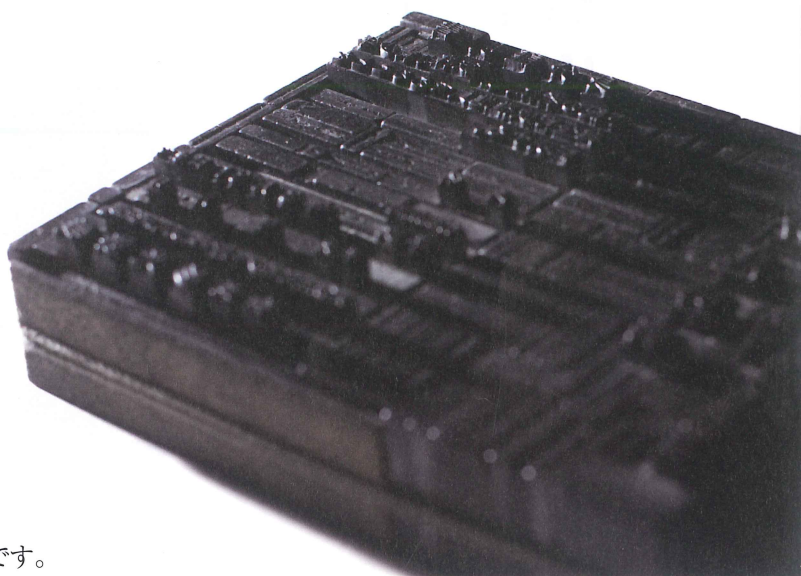
活版印刷へ 荷札から

活版印刷とは鉛で作られた活字と呼ばれる文字を1つずつ組み合わせて版を作り、凸になっている部分にインクをつけ印刷するものです。インクの濃度や紙に押し付ける圧力の強弱でムラが発生し、独特のアナログらしさをもった風合いに仕上がるため、最近では好んで使われることもあります。

東彼杵町にて2011年まで操業していた九州荷札印刷株式会社は、荷札製造にはじ

まり90年に渡って印刷業を営んでいました。

今回の展覧会では、九州荷札印刷株式会社より寄贈していただいた、活版印刷機や活字、職人の思いが詰まった道具類を展示し、活版印刷のしぐみや、味のある活版印刷の魅力、九州荷札印刷株式会社の歴史について紹介します。



活字と込めものを精密に組み合わせて組んである印刷用の版↑

入場無料

主催 | 東彼杵町教育委員会
協力 | 佐藤昇一(元 九州荷札印刷株式会社 工場長)

本展は「長崎活版巡礼祭 | ジロ・デ・カッパン」との連携企画です。
長崎活版巡礼祭 <http://nagasakiappan.tumblr.com>

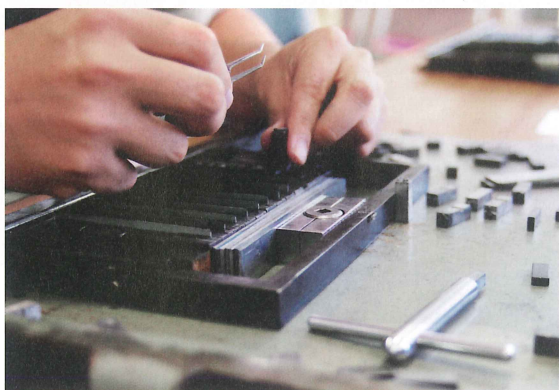
活版印刷体験ワークショップ

9月20日(日)、10月18日(日)

13:00~15:00

申込不要、随時受付
当日多数の場合は先着順。お待ちしております。

参加料は無料です。



お問い合わせ

東彼杵町歴史民俗資料館
長崎県東彼杵郡東彼杵町彼杵宿郷430-5
tel.0957-46-1632

火曜日休館

